

A5:SQL Mk-2 をインストールし、データベースのインポート、ER 図の作成、テーブル設計書の作成を行う

【A5:SQL Mk-2 は】

A5:SQL Mk-2 はさまざまなリレーショナルデータベース管理システムに接続して動かすことができるデータベースツール。

【この資料で行うこと】

1. Access 2010 再頒布可能コンポーネントのダウンロードとインストール
2. A5:SQL Mk-2 のダウンロードとインストール
3. 付属の Microsoft Access サンプルデータベースを開いてみる
4. 既存のデータベースで ER 図の作成
5. 既存のデータベースでテーブル設計書の作成

Access 2010 再頒布可能コンポーネントは、**Microsoft Access 用の 64 ビット版 ODBC ドライバ**が欲しいのでインストールする。「Access 2010」とあるが、Access 2016 でも動くので心配ない。

謝辞：ここで紹介しているソフトウェアの作者に感謝します。

1. Access 2010 再頒布可能コンポーネントのダウンロードとインストール

① ウェブページを開く

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=13255>



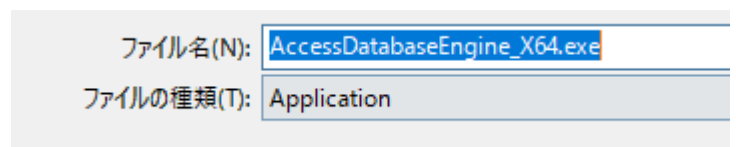
② ダウンロードしたいので「ダウンロード」をクリック。



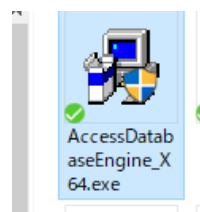
③ 64 ビット版が欲しいので「AccessDatabaseEngine_X64.exe」をチェックし、「次へ」をクリック。



④ .exe ファイルがダウンロードされる。



⑤ ダウンロードした .exe ファイルを実行する。



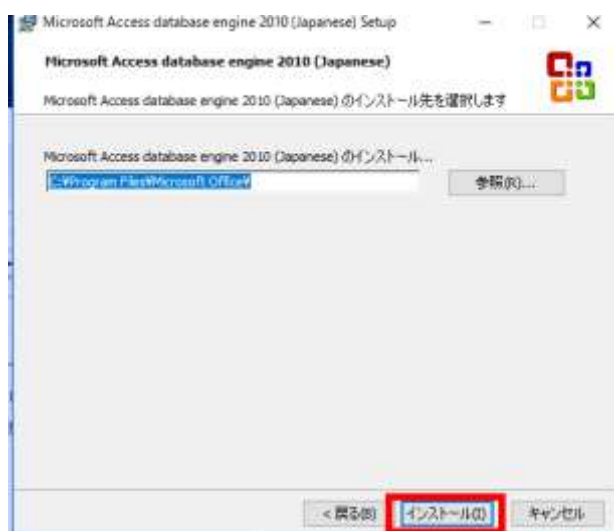
⑥ ようこそ画面では「次へ」をクリック。



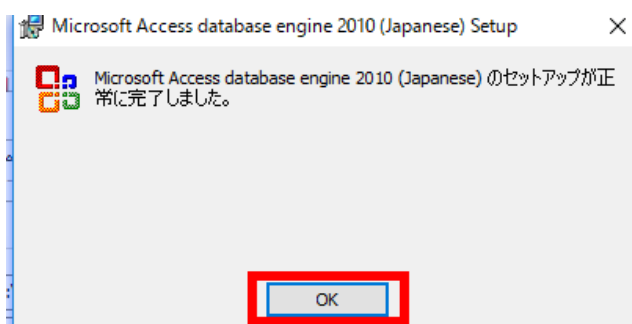
⑦ ライセンス条項の確認。



⑧ インストールディレクトリ（フォルダ）は既定のままでよい。「インストール」をクリック。



⑨ インストール終了の確認。「OK」をクリック。



2. A5:SQL Mk-2 のダウンロードとインストール

- ① A5:SQL Mk-2 のウェブページを開く

<http://a5m2.mmatsubara.com>

- ② 「ダウンロードはこちら」をクリック。



- ② ダウンロードしたいので、64ビット版のほうの「ダウンロードページへ」をクリック。



- ③ 「このソフトを今すぐダウンロード」をクリック。



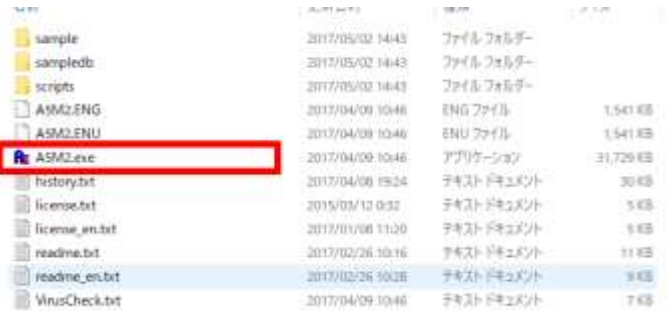
④ ダウンロードした .zip ファイルを展開（解凍）



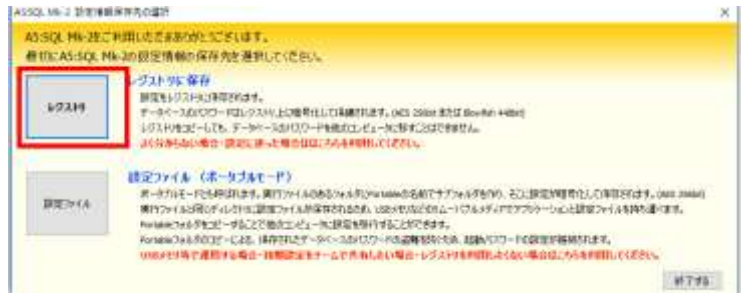
⑤ 展開してできたディレクトリ **a5m2_2.11.6_x64** を **C:¥** の直下に移動



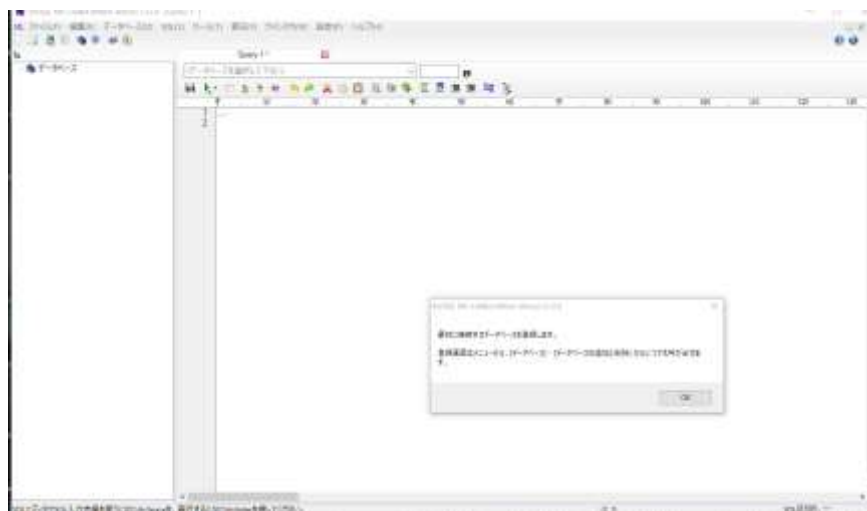
⑥ 確認のため、ASM2.exe を実行してみる



⑦ 初回起動設定. 「レジストリ」をクリック.

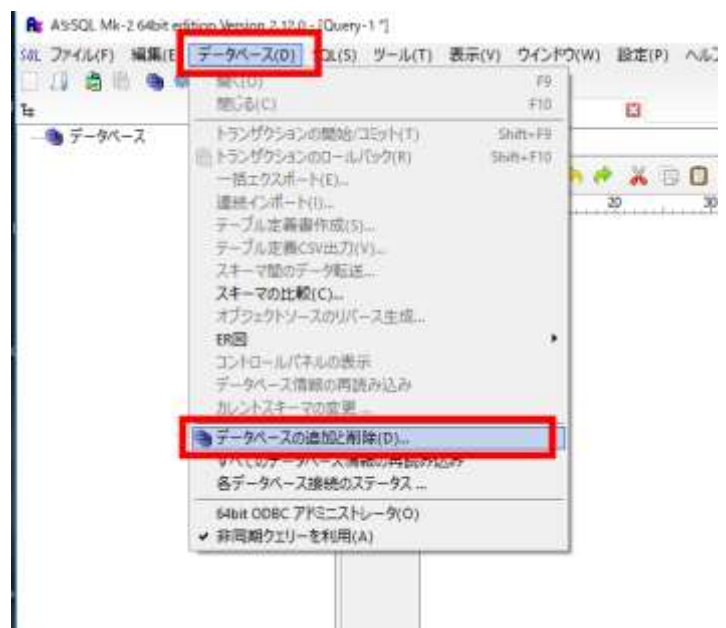


⑧ 新しい画面が開くので確認する.



3. 付属の Microsoft Access サンプルデータベースを開いてみる.

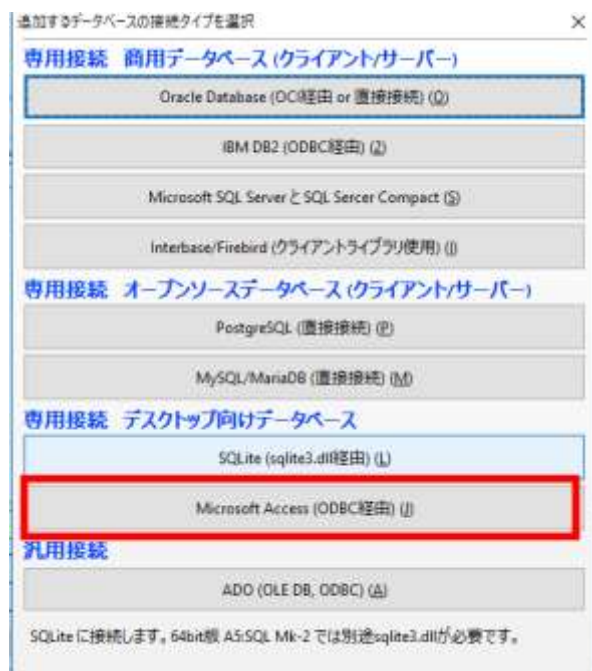
① 「データベース」→「データベースの追加と削除」と操作する.



② 「追加」をクリック.



③ 「Microsoft Access (ODBC 経由)」をクリック.

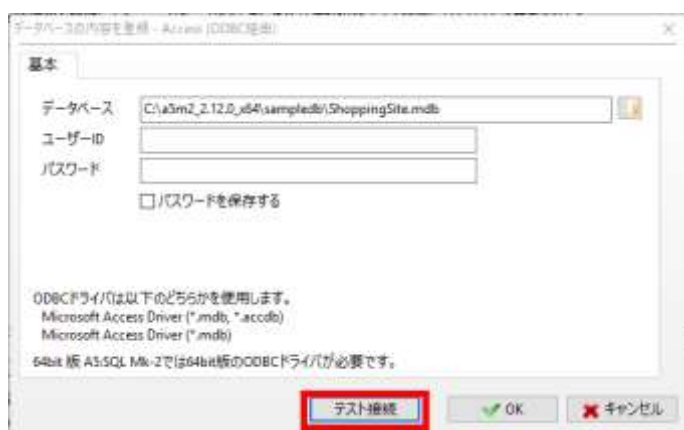


④ サンプルデータベースファイル

C:\a5m2_2.11.6_x64\sampledb\ShoppingSite.mdb を選ぶ。

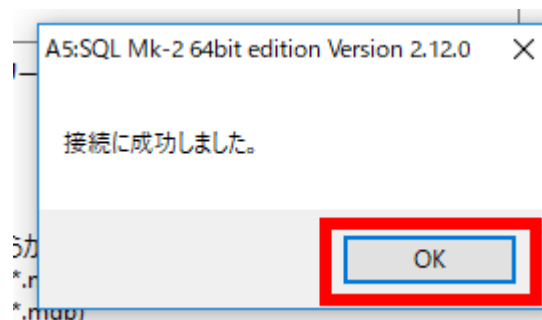


⑤ 「テスト接続」をクリック。

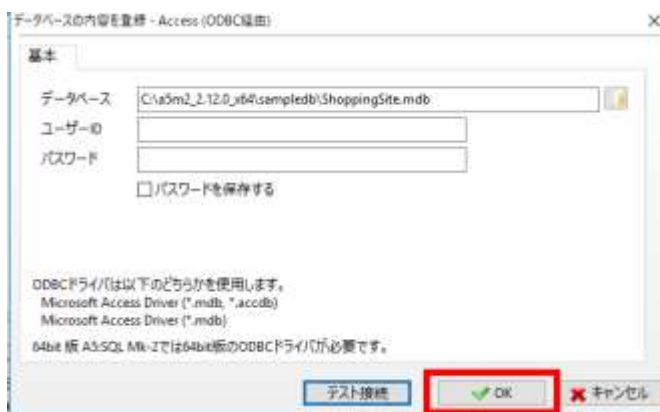


⑥ 「接続に成功しました」と表示されるので確認し、「OK」をクリック。

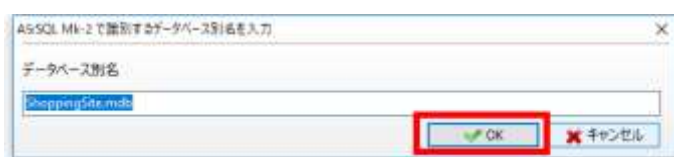
※ エラーが出たときは、Access 2010 再頒布可能コンポーネントのインストールがうまく行っていない可能性がある。



⑩ 「OK」をクリック



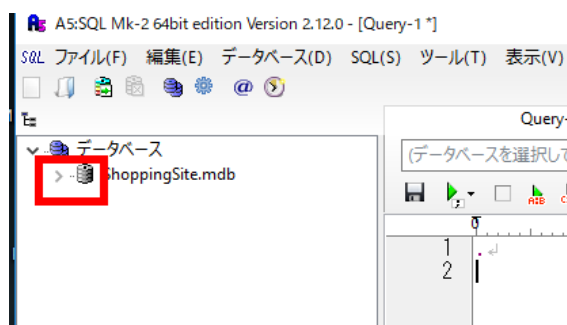
⑪ データベース別名は既定（デフォルト）のままでよい。「OK」をクリック。



⑫ 「ShoppingSite.mdb」が追加されたことを確認し、「閉じる」をクリック。



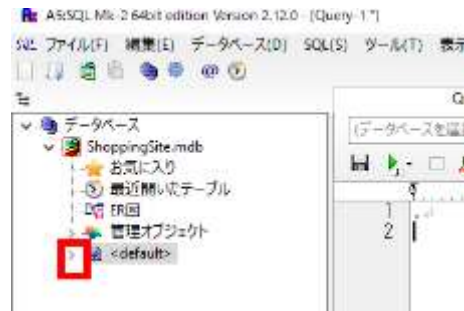
⑬ 確認したいので、「ShoppingSite.mdb」の左横の「>」を展開。



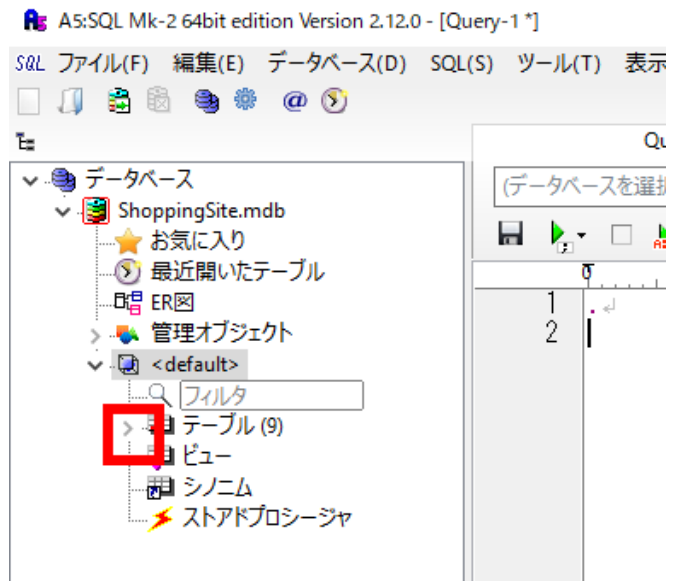
⑭ データベースログインの設定画面では、何も設定しなくてよい。「OK」をクリック。



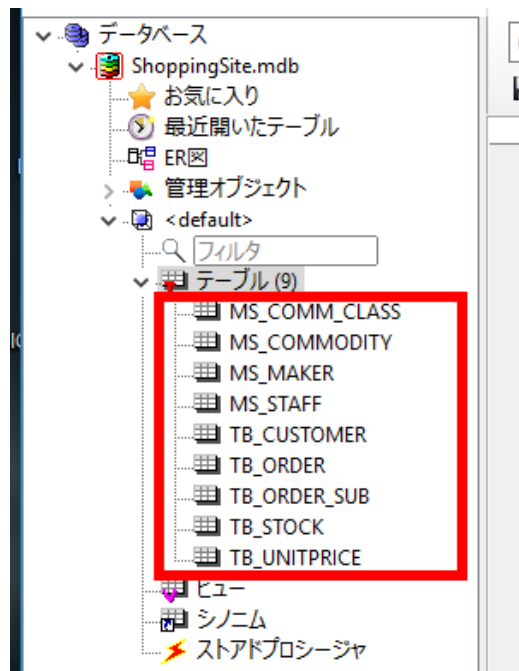
- ⑮ 「<default>」の左横の「>」を展開.



- ⑯ 「テーブル」の左横の「>」を展開.



- ⑰ テーブル一覧が表示されるので確認する.

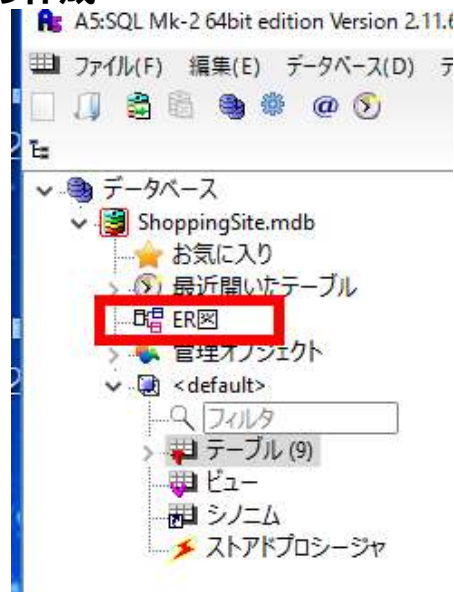


- ⑱ テーブルを1つ選んでクリックすると、エディタが開く。

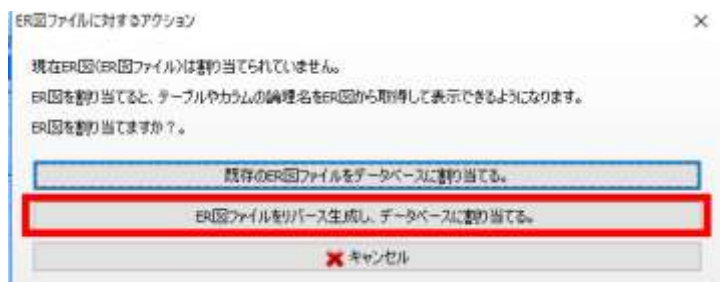


4. 既存のデータベースで ER 図の作成

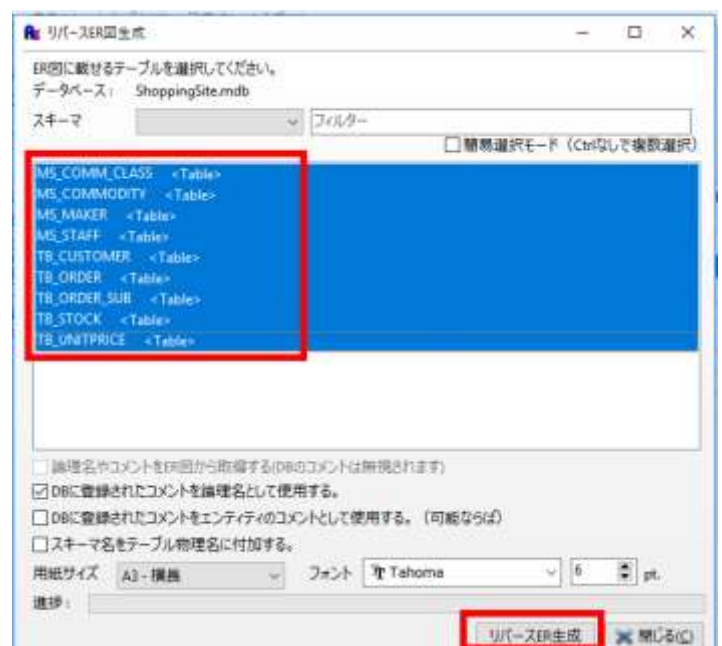
① ER 図を作成したいデータベースの下の「ER 図」をクリック。



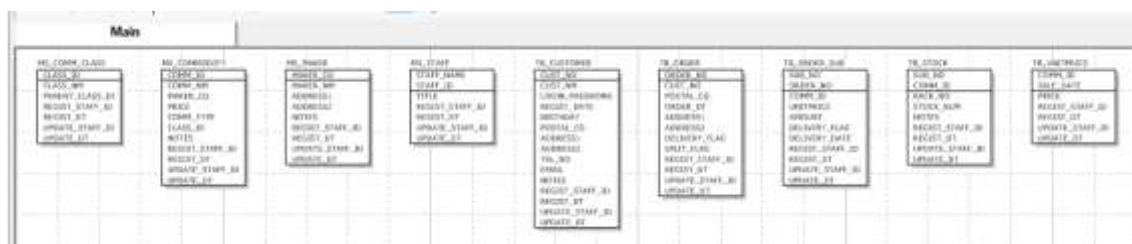
② 既存のデータベースから ER 図を作成したいので「ER 図ファイルをリバース生成し、データベースに割り当てる。」を選ぶ。



③ テーブルをすべて選び、「リバース ER 生成」をクリック。

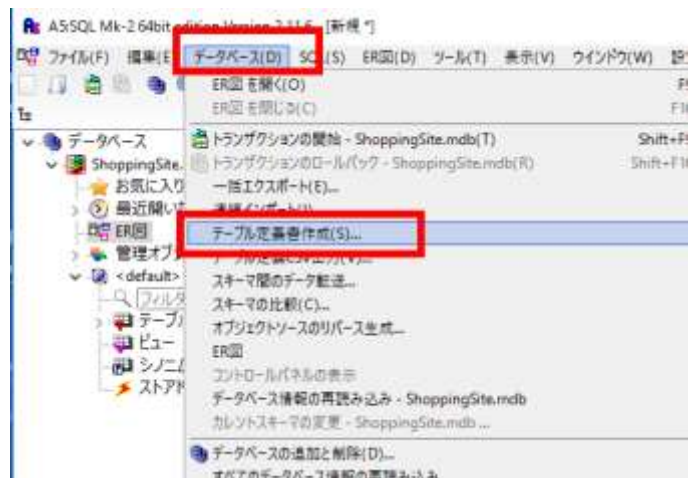


④ ER図が生成されるので確認する.

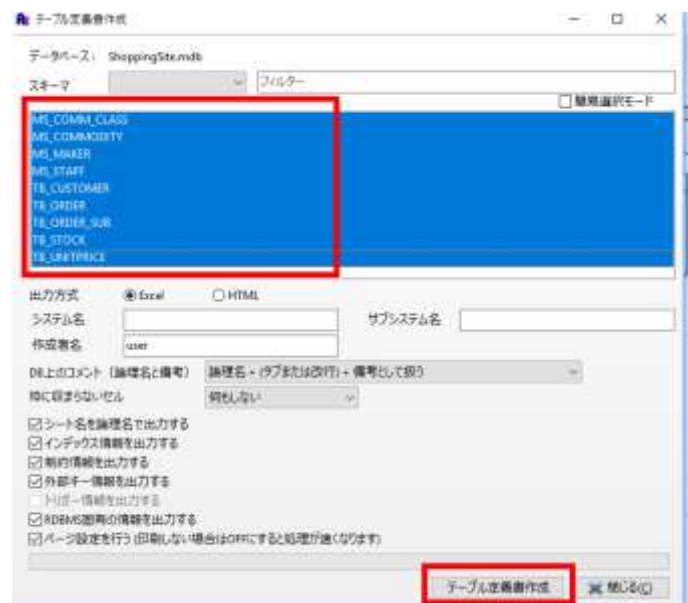


5. 既存のデータベースでテーブル設計書の作成

- ① メニューの「データベース」で「テーブル定義書作成」を選ぶ。



- ② テーブルをすべて選び、「テーブル定義書作成」をクリック



③ テーブル定義書の Excel ファイルが生成される。

テーブル情報						
システム名		作成者	user			
サブシステム名		作成日	2016/11/23			
スキーマ名		更新日				
論理テーブル名		RDBMS	ACCESS 04.00.0000			
物理テーブル名	TB_UNITPRICE					
備考						
コラム情報						
No	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1		SALE_DATE	DATETIME			
2		COMM_ID	VARCHAR(10)			
3		PRICE	INTEGER			
4		REGIST_STAFF_ID	VARCHAR(6)			
5		REGIST_DT	DATETIME			
6		UPDATE_STAFF_ID	VARCHAR(6)			
7		UPDATE_DT	DATETIME			
インデックス情報						
No	インデックス名	コラムリスト	主キー	ユニーク	備考	
1	TB_UNITPRICE_PKC	SALE_DATE,COMM_ID		Yes		
2	TB_UNITPRICE_IX1	COMM_ID				